

# 懸賞SA 解答 2023年 6月号

## 問1 正解③

憲法16条は「何人も」と規定しており、請願権の権利主体には、自然人のみならず法人も含まれる。また、請願権はその権利としての性質上、日本国民のみならず外国人にも保障されると解されている。

## 問2 正解②

枝文は、懲戒処分の一つである免職の説明である。一方、分限処分の一つである免職とは、公務員の勤務実績が良くない場合、心身の故障のため職務遂行に支障がある場合等に、懲罰や制裁としてではなく、公務の能率維持の観点から、任命権者が一方的に職を免ずる処分のことである。

## 問3 正解①

刑法185条ただし書は、「一時の娯楽に供する物を賭けたにとどまるときは、この限りでない。」と規定しており、経済的価値が極めて僅少で、専ら娯楽を助けるための物（菓子など）を賭けた場合については、単純賭博罪は成立しない。

## 問4 正解⑤

司法警察員が代行検視を行う場合、当該司法警察員は、検察官の補助者としてではなく、その責任において検視を代行することとなる。

## 問5 正解④

警察署長は、処理部門による処理に遅延・懈怠を認めたときは、当該処理部門に対して必要な指揮を行うこととなる。

## 問6 正解③

いわゆる焼却禁止違反（廃掃法16条の2）については、警ら中における発見のほか、目撃者や消防からの焼却中である旨の通報による認知が多いことから、早期臨場による犯行の現認や被疑者・証拠の確保、更には早急な消化措置等を講じる必要がある。

## 問7 正解②

自動車検問を実施する際は、見通しが良く、夜間は照明設備があるできるだけ明るい検問場所を選定するとともに、とっさの場合に危険を回避できる安全な場所を確保する。また、ヘルメット等を着用するほか、夜間は必ず照明器具、夜光チョッキ、停止灯等を使用する。

## 問8 正解④

死体は日時の経過とともに変化し、人相もそれにつれて生前とは異なったものになっていくが、死体が比較的新しい場合には、その顔写真を撮影し、またコンピュータを活用するなどして修正して、死者の尊厳に配慮しながら、これを近親者、縁故者、知人等に見せて個人識別に利用することができる。

## 問9 正解①

「車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先」が正しい。道交法上、自転車は軽車両と位置付けられ、歩道と車道の区別がある場所では、車道を通行するのが原則である。なお、自転車の交通ルールの広報啓発に当たっては、自転車安全利用五則を活用するものとされている。

## 問10 正解⑤

日本と北大西洋条約機構（NATO）は、基本的価値とグローバルな安全保障上の課題に対する責任を共有するパートナーであるが、日本はその加盟国ではない。なお、加盟国の数は、令和5年3月末時点で30か国となっている。